

2007年3月30日
株式会社ニュース・ツー・ユー

【News2uリサーチ】

受け取りたいフィードは企業ニュース。

76%のユーザーが企業発のニュースを期待。

～News2uリサーチ「企業発信フィード 利用実態調査」を公開～

株式会社ニュース・ツー・ユー（本社：東京都千代田区、代表取締役：神原弥奈子）と株式会社ボーダーズ（本社：東京都新宿区、代表取締役：萩野郁夫）は、全国20歳以上の男女404名を対象に「企業発信フィードの利用実態」についてインターネット調査を実施しました。後日、詳しい調査結果を発表することを予定しています。

調査結果発表については、ニュース・ツー・ユーが運営するニュースリリースポータルサイト「News2u.net」< <http://www.news2u.net/> >でお知らせします。

結果サマリー

利用ツールは「RSSリーダー」と「Webブラウザ」が主流

フィード受信。約75%が「情報の早さ」をメリットととらえる。

閲覧頻度。67%のユーザーは毎日。37%は1日に数回チェック。

気軽な情報収集ツールとして利用。

最新情報を受け取る価値は、企業ニュースとIT情報に。

受け取りたいフィードは企業ニュースがトップ。IT情報やビジネス情報にも期待が高まる。

調査方法

現在、企業発信フィードを利用している人404名をサンプル対象とし、企業がWebサイトで発信する情報を17項目に分類し、それぞれの項目に対する意識調査を実施した。

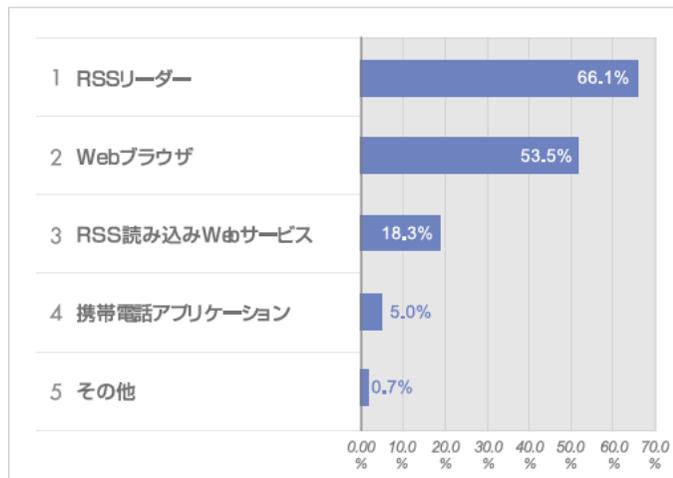
調査方法：	インターネット調査
調査対象：	全国の20代～50代の現在、企業情報をフィードで受け取っている男女404名
調査期間：	2007年3月14日（水）～2007年3月19日（月）
有効回答数：	404件

調査項目：	ニュース
	ビジネス／経済
	パソコン／インターネット
	投資／ファイナンス
	住宅／不動産
	テレビ／映画
	音楽
	スポーツ
	ゲーム
	日記（社長ブログ・社員ブログなど）
	ショッピング／ファッション
	旅行
	グルメ
	アート／芸術
	健康／ダイエット
	就職／転職／資格
その他	

結果データ

利用ツールは「RSSリーダー」と「Webブラウザ」が主流

フィードを受け取る方法について調査しました。その結果、最も多かったのが「RSSリーダー」（66.1%）、次いで「Webブラウザ」（53.5%）、3位が「RSS読み込みWebサービス」（18.3%）でした。



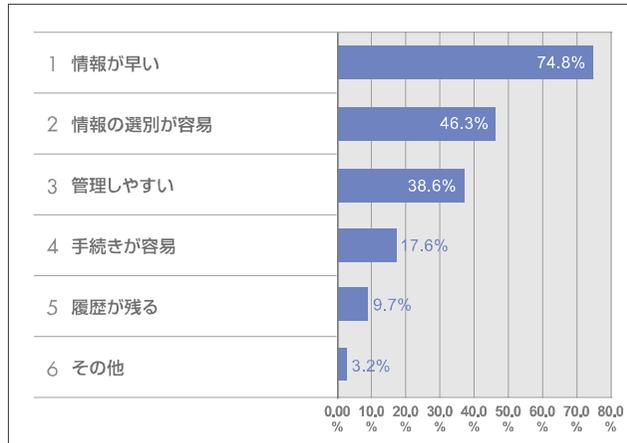
【グラフ1】フィード（RSS、ATOM）を受け取る方法

フィード受信。約75%が「情報の早さ」をメリットととらえる

フィードを受け取る理由について調査しました。

その結果、最も多かったのが「情報が早い」（74.8%）、次いで「情報の選別が容易」（46.3%）、3位が「管理しやすい」（38.6%）でした。

最新の情報を取りこぼすことなく得たいユーザーにとって、メリットの高い機能であることがわかります。



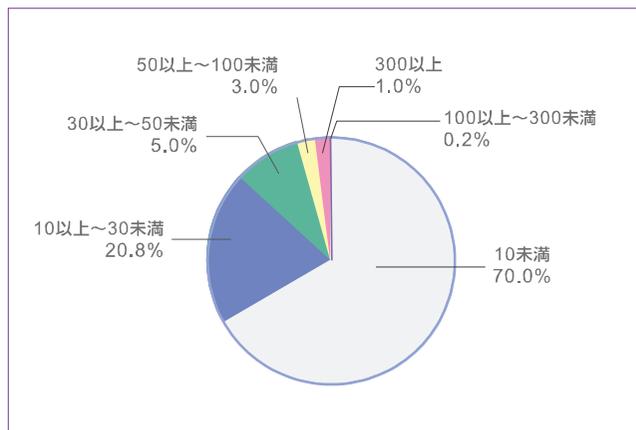
【グラフ2】フィード（RSS、ATOM）を受け取る理由

登録している件数。7割が10件未満。

企業が発信するフィードを何件程度受け取っているかについて、調査を行いました。

その結果、1位は「10未満」（70.0%）、2位が「10以上30未満」（20.8%）、3位が「30以上50未満」（5.0%）でした。

70%のユーザーはフィードの登録件数が10件未満であることから、多くのユーザーは、登録する際に、あらかじめ受け取るコンテンツを選別しているといえそうです。

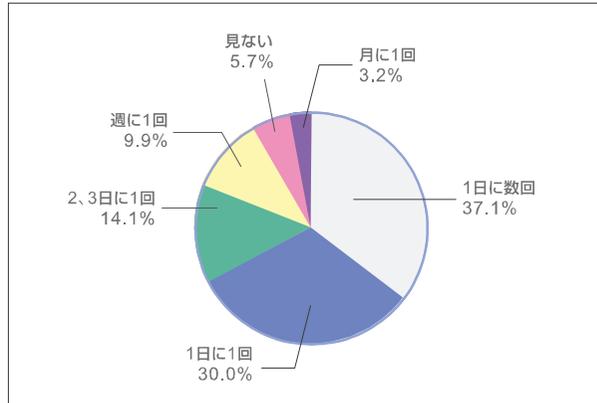


【グラフ3】企業が発信するフィードを何件程度受け取っていますか？

閲覧頻度。67%のユーザーが毎日チェック。37%が1日に数回チェック。

受け取ったフィードを確認する頻度について、調査を行いました。その結果、1位「1日に数回」（37.1%）、2位「1日に1回」（30.0%）、3位「2、3日に1回」（14.1%）でした。

1位2位をあわせると、67%のユーザーは毎日フィードをチェックしていることがわかります。

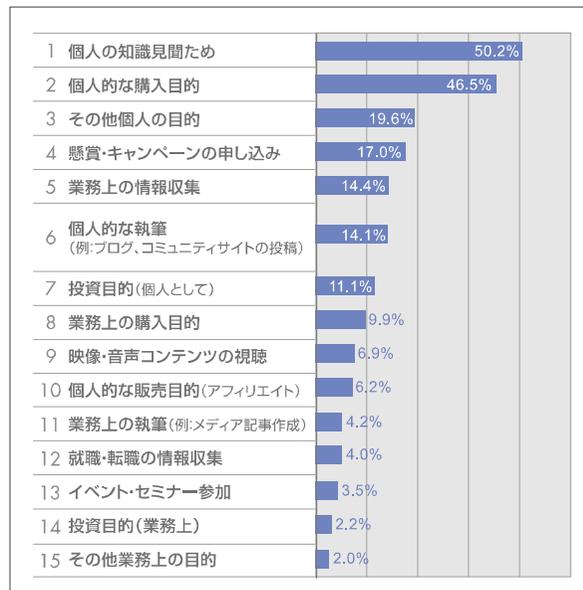


【グラフ4】企業が発信するフィードを確認する頻度について教えてください。

気軽な情報収集ツールとして利用。

企業情報をフィードで受け取る目的について、調査を行いました。その結果、1位「個人の知識見聞のため」（50.2%）、2位「個人的な購入目的」（46.5%）、3位「その他個人の目的」（19.6%）となりました。

「投資目的」「業務上の購入目的」など意思決定に重みが出る行動に比べ、比較的気軽な目的で利用されているようです。

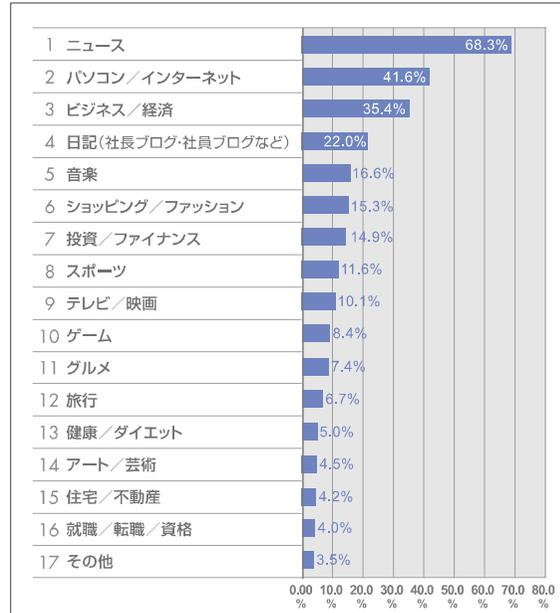


【グラフ5】企業が発信するフィードを受け取る目的について教えてください。

現在68%のユーザーが企業ニュースを受け取る。

現在受け取っている企業のフィードについて、調査を行いました。

その結果、1位「ニュース」(68.3%)、2位「パソコン/インターネット」(41.8%)、3位「ビジネス/経済」(35.4%)となりました。



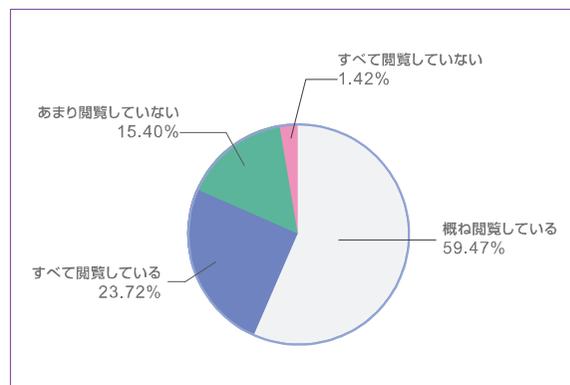
【グラフ6】受け取っているフィードは、どのようなジャンルですか？

83%が受け取ったフィードを閲覧。

受け取ったフィードの閲覧状況について「全て閲覧している」「概ね閲覧している」「あまり閲覧していない」「全く閲覧していない」の4項目で調査を行いました。

その結果「閲覧している」と回答した合計は83%にのぼり、「閲覧していない」と回答した合計は16%でした。

フィードの受け取りは、自らで登録することが必要なため、受け取ったコンテンツへも高い関心度がうかがえます。

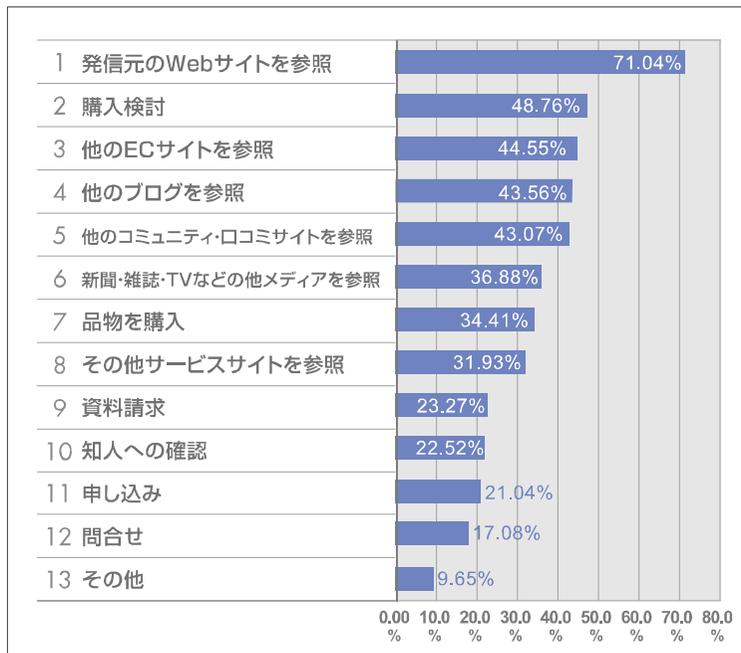


【グラフ7】受け取ったフィードを、閲覧していますか？

関連情報は、発信元のWebサイトを参照。

受け取った情報を閲覧した結果、とったことのある行動について調査を行いました。その結果、1位「発信元のWebサイトを参照」（71.04%）、2位「購入検討」（48.76%）、3位「他のECサイトを参照」（44.55%）となりました。

「品物を購入」「資料請求」など、受け取った情報に対して直接行動へ移すユーザーより、確認行動をとるユーザーが多いことがわかります。企業側は関連情報を自社サイトに公開することで、ユーザーの満足度を上げることができそうです。

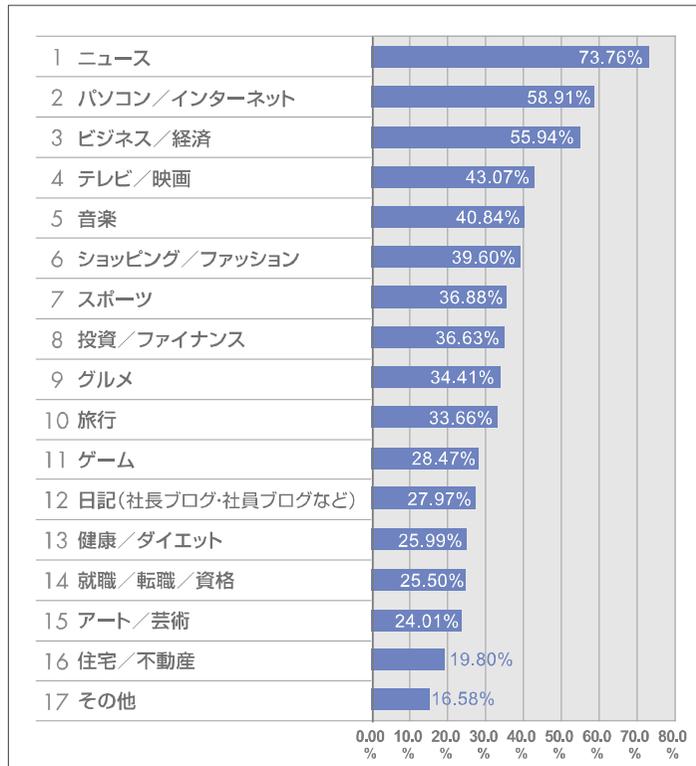


【グラフ8】企業が発信するフィードの内容に基づき、次の行動を行ったことはありますか？

最新情報を受け取る価値は、企業ニュースとIT情報に。

企業が発信するフィードが、情報収集の手段として有用であるか調査を行いました。その結果、1位「ニュース」(73.76%)、2位「パソコン/インターネット」(58.91%)、3位「ビジネス/経済」(55.94%)となりました。

上位には、音楽やショッピングなどの娯楽情報をおさえて、企業ニュースやIT情報がランクインしています。企業ニュースは、最新情報として受け取る価値が高いとされているようです。

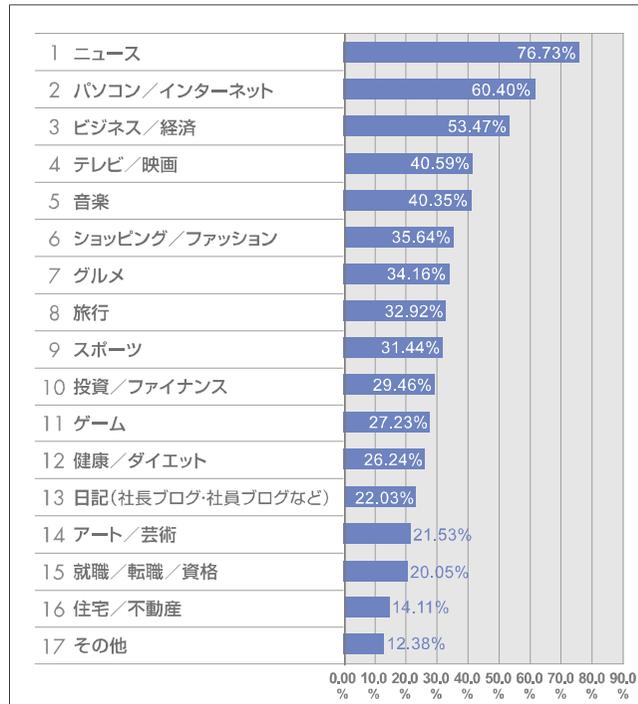


【グラフ9】企業が発信するフィードは情報収集手段として有用ですか？

受け取りたいフィード、企業ニュースがトップ。IT情報やビジネス情報にも期待が高まる。

今後、受け取りたい企業のフィードについて調査を行いました。その結果、1位「ニュース」（76.73%）、2位「パソコン/インターネット」（60.40%）、3位「ビジネス/経済」（53.47%）となりました。

ユーザーは企業が発信するニュースに注目しており、最新情報をタイムラグなく受け取りたいと思っていることがうかがえます。



【グラフ10】今後、どのようなジャンルのフィードを受け取りたいですか？

【株式会社ニュース・ツー・ユーについて】

2001年3月設立。ニュース・ツー・ユーは企業が新たなビジネスチャンスを創造するために、オンラインでの各種サービスを提供しています。ニュースリリースポータル「News2u.net」(URL: <<http://www.news2u.net/>>)、インターネットを活用したコーポレート・コミュニケーションを支援する各種ASP事業、企業向けASPの開発、企業Webサイトの制作、各種セミナーや広報コンサルティング等、あらゆる広報支援サービスを提供しています。

URL <http://www.news2u.co.jp/>

【株式会社ボーダーズについて】

インターネット専門のマーケティングリサーチサービスを提供。調査パネル65万人のデータサンプリングサービス、インターネットリサーチコンサルティング、オンラインリサーチシステム構築支援など、オンラインリサーチに関するソリューションサービスをワンストップで提供しております。

URL <http://borders.jp/>

本件に関するお問い合わせ

本リリースの転載・引用時は、2社クレジットの明記および下記広報担当への一報をお願いします。

株式会社 ニュース・ツー・ユー 事業開発部 担当：富岡
Email: info@news2u.co.jp <<mailto:info@news2u.co.jp>>
TEL: 03-3512 - 0330

株式会社 ボーダーズ 担当：川嶋
Email: info@borders.jp <<mailto:info@borders.jp>>
TEL: 03-5366-2878